

☆日芸協中部（当会） 総会

5月6日（月）日本特殊陶業市民会館（名古屋市中区）にて10時より開催されました。戸田理事長の開会宣言で、総会員数532人のうち出席者455人（委任状を含む）をもって総会成立が報告されました。大澤会長の挨拶の後、議長に戸田理事長が選出されました。第1号議案 2023年度事業・決算報告について伊藤事務局長から説明の後、出口前監査役から適正であるとの報告があり、賛成多数で承認されました。第2号議案 2024年度事業計画・予算案についても賛成多数で承認されました。今年度の主な事業は、第35回日芸協中部コンサート（ゲストは八連符+）、第29回アンデパンダン発表会、年3回の広報紙の発行、研修会の開催です。研修会は昨年同様 同日に複数講座を開催し、受講者は複数の講座が受講できます。会場は昨年同様、大府市愛三文化会館で、アクセス向上のため最寄りの駅から会場までチャーターバスを運航します。この他、今年では会創設40年を記念するCDを販売いたします。（4月発行の広報紙でご案内済）。

議事終了後、本年度は当会の役員改選期で、退任された加藤精吾前会長、小林義行前副会長、山田かをる元会計の3人の方の長年に渡るハーモニカ活動、会への貢献を感謝し、表彰式が行なわれました。その後、大澤会長より師範合格者2人、準師範合格者7人、長老荣誉賞受賞者8人の紹介がありました。（詳細は裏面）又、理事長より、佐藤秀廊賞、日本ハーモニカ賞の受賞者の紹介、第4回全日本ハーモニカ演懐コンクール（全日本ハーモニカ連盟主催）等について説明がありました。また、事務局長より今年度の会員登録状況、会員増強活動について説明がありました。



◇事務局からのお知らせとお願い

2024年度初めの会員数は495人でした。コロナ感染拡大以前は800人程でしたが、コロナによる教室活動の長期に渡る停滞、高齢化の進展もあり、会員数は大きく減少しています。会としましても「会員増強活動」等の活動に努めていますが、皆様一人ひとりが会員勧誘にご協力いただきたく、お願いいたします。

◇広報委員会からのお願い

学校関係や地域のコミュニティー誌作り等の経験のある方、パソコンが得意な方、写真撮影の好きな方を募集しています。ご興味のある方は
ito.starcat@yahoo.ne.jp（伊藤）までお問い合わせください。

☆日本ハーモニカ芸術協会（本部） 総会

4月22日（月）東京・日暮里サニーホールで開催されました。田邊会長、上相談役の挨拶に続き、加藤精吾理事長（当会名誉会長）が議長に選出され、議事が進められました。

第1号議案 2023年度事業及び決算報告、第2号議案 2024年度事業計画及び予算（案）について、決算承認・予算案が可決され2024年度予算が成立しました。

第3号議案 理事及び監査役の承認について原案の通り承認されました。

当会からは、理事長に加藤精吾さん、組織局長に大澤龍己さん（当会会長）が再任され、新たに理事に戸田明さん（当会理事長）が任命されました。

第4号議案 会則改正について理事の定数を現行「20名以上25名以内」から「25名以上30名以内」に改正する。

改正理由は、全国の多くの地域から理事を選任し、会員数の増強を図る為です。原案の通り承認されました。

総会終了後、同じ会場で、恒例の「春のハーモカまつり」が開催されました。当会からは、2023年に複音ハーモニカコンクール「ミドルの部」で第1位を受賞された高柳ひろみさん（浜松市）が「ロシアの思い出」を演奏、FIHコンテスト複音ソロ部門で第1位を受賞された田中恭枝さん（福井市）が「ユーモレスクとスワニー河」「ラ・クンパルシータ」等4曲を熱演され、会場を大いに沸かせました。

☆大澤龍己さん「佐藤秀廊賞」受賞！！

「佐藤秀廊賞」に、大澤龍己さん（当会会長）が選出されました。「佐藤秀廊賞」はハーモニカの高い演奏技術だけでなく、ハーモニカ音楽の普及と発展に貢献、社会活動に尽力された人物を讃えるために創設された、ハーモニカ界の最高の賞とされています。中部地区からは、石川澄男さん（2005年）、小澤邦夫さん（2011年）、加藤精吾さん（2013年）が受賞されており、4人目の受賞となりました。



☆第46回 日本ハーモニカ賞

4月21日（日）全日本ハーモニカ連盟「ハーモニカ・フォーラム2024」が東京・日暮里で開催され、津田貴三子さん（当会理事、中部ハーモニカ連盟理事）が日本ハーモニカ賞を受賞されました。

☆第18回 三河ハーモニカ演奏会

6月2日(日)岡崎市シビックセンターで開催されました。合奏39曲(21グループ)、独奏19曲の演奏で144人の出演があり、来場者は約270人でした。1部のオープニングは視覚障害者12人の「あいMハーモニカクラブ」による元気な演奏で開演しました。今年の特徴は小・中・高校生の子どもの出演が3組、18人と多かったことです。2部の終わりに子ども達全員が舞台に出て伴奏し「しあわせなら手をたたこう」を会場の全員で歌って盛り上げてくれました。



そして、第12回複音ハーモニカコンクールで受賞した中学生の松山翔真君が「山寺の和尚さん」、高校生の松山悠翔君が「トルコ行進曲」と高難度の独奏を演奏し喝采を受けました。最後は、昨年の複音ハーモニカコンクール複音ソロ・シニア部門で第2位を受賞された辻豊志さんの「宵待草幻想曲」の演奏で終演しました。

(寄稿：野々目邦弘さん)

☆第18回 全知多ハーモニカ演奏会

梅雨に入り、小雨交じりの曇り天気の中、6月23日(日)13時から阿久比町中央公民館アグピアホールにて開催されました。来場者数は282人を数えました。中瀬真佐夫 知多支部長の挨拶から始まり辰己春美さんの軽妙な司会で、独奏15人、二重奏1組、四重奏5組、合奏4組、延べ79人が日頃の成果を披露しました。このホールは音響がすばらしく、また舞台照明も明るくて、気持ちよく演奏することが出来ました。プログラム前半の最後には演目「雨降りお月さん」をステージでは会員によるハーモニカ合奏、観客席のお客様と一体となり全員合唱で盛り上がりました。最後は3人の指導者の模範演奏で終了し、成功裏に閉会しました。

(寄稿：榊原佳司さん)



☆師範合格者の喜びの声 (津田貴三子さん)

準師範合格から10年以上が過ぎ、「今さら受験しても」と、迷いに迷っての受験でした。ハーモニカは23年前、江南市の「生涯学習講座」受講を機に始めました。講座終了後サークルを立ち上げ、その仲間とは今も演奏会への出演や、ボランティア活動等しております。私はハーモニカの上達には「環境作り」が必要と思っています。ヴァイオリン学習で著名な鈴木メソードの鈴木鎮一先生は音痴の母の子守歌を聴いて育った子は「音痴」に、と仰っています。「良い環境」はハーモニカにも不可欠です。コンサートに出かける、CDを聴く、同じ曲を聴き比べるなど環境を整え、試験・コンクールとは無縁と思っている人もチャレンジしてはどうでしょうか。できない部分の繰り返し練習・たった一音のミスでやり直しなど緻密な練習が勉強になります。年齢も気にせず、少々頭を使い、自分だけの時間を頑張りませんか。

◇ グレード認定等のお知らせ ◇

2024年4月 中部支部関係分

- 【初級】★愛西ハモクラブ=櫻井朱美、伊藤敏子
 【中級】★愛西ハモクラブ=岩田昌二
 【上級】★武豊サークル=榊原佳司 ★とうせいハモクラブ=伊藤嘉子 ★積志ハモ倶楽部=馬塚五朗
 【研究科】★大澤栄教室=守田かよ子 ★東海ハモニズ=新海啓文 ★中瀬教室=青木早苗
 【準師範】柴山真由美(愛知)、村瀬優子(愛知)、高柳ひろみ(静岡)、服部恒子(静岡)、渡辺康子(静岡)、福島小夜子(石川)、田井敏昭(石川)
 【師範】津田貴三子(愛知)、樋口美穂(三重)
 【長老栄誉賞】岩田洋(愛知)、小野俊子(岐阜)、中瀬真佐夫(愛知)、多川裕弘(愛知)、細川頼之(愛知)、草深茂(三重)、小島勝利(愛知)、藤野秀男(愛知)

◆ イベントカレンダー ◆

2024年8月1日現在

開催日	内容	開始時間	会場	備考
8月31日(土)	Various(多種講座)研修会	9時	大府市愛三文化会館	有料
10月5日(土)	第19回 なごやハーモニカ演奏会	12時30分	名古屋市南中村文化小劇場	
10月19日(土)	第2回 三重ハーモニカ街道演奏会	13時	鈴鹿市ふれあいホール	
10月20日(日)	第13回 ハーモニカふれあいコンサート	13時	ヤマカまなびパーク(多治見市)	
11月9日(土)	第14回 複音ハーモニカコンクール	12時30分	スクエア荏原ひらつかホール(東京都品川区)	有料
11月21日(木)	第9回 豊橋ハーモニカ愛好会交歓演奏会	12時30分	豊橋市公会堂	
11月24日(日)	第9回 ビュアハーモニカコンサート	13時	セラミックパークMINO(多治見市)	
2025年1月13日	第29回 ハーモニカアンデパンダン発表会	12時30分	名古屋市名東文化小劇場	
その他中部地区の演奏会予定				
開催日	内容	開演時間	会場	備考
10月6日(日)	中部ハーモニカ連盟45周年記念コンサート	12時30分	名古屋市天白文化小劇場	有料
2025年2月15日	第4回 演懐コンクール	11時予定	ウインクあいち(名古屋市南中村区)	有料